

## 令和4年度 第2回 「宇都宮市子ども・子育て会議」 議事録

1. 日 時 令和5年1月20日（金） 午後2時00分～午後3時00分
2. 場 所 中央生涯学習センター 6階 601大ホール
3. 議 事 「第2期宇都宮市子ども・子育て支援事業計画」の中期見直しについて
4. 出席者（委員：23名，事務局：21名，計：44名）

### 【委 員】

清水信子委員，青木克介委員，仙波和夫委員，栗田幹晴委員，釦持幸子委員，海野仁昭委員，佐々木佳子委員，平手義章委員，永田文子委員，松本清美委員，口川浩子委員，大島誠委員，菊地芳弘委員，関口浩委員，倉益章委員，青木章彦委員，河田隆委員，高橋英樹委員，浅木一希委員，寺内賢太委員，市川和子委員，篠原良一委員，大音知子委員

### 【事務局】

〔子ども部〕高野部長，高橋次長

〔子ども未来課〕田邊課長，野澤主幹，西田所長，大嶋課長補佐，加藤課長補佐，若井係長，佐藤総括，大塚主事，増山主事

〔子ども家庭課〕富山課長，谷黒室長，伊澤課長補佐

〔保育課〕石和課長，江原課長補佐，野澤係長，栗橋主事

〔子ども発達センター〕大橋所長

〔生涯学習課〕鈴木課長，柿沼係長

5. 公開・非公開の別 公開

6. 傍聴者数 0名

発言者	内 容
事務局	<p>1 開会 会議の公開について決定</p> <p>2 議事 「第2期宇都宮市子ども・子育て支援事業計画」の中期見直しについて (事務局説明)</p>
会長	質問・意見等はあるか。
委員	<p>表の書き方について、まず、量の見込に対して、「確保方策」とあるが、「確保量」と書かなければならないのではないかと。確保方策は右側の考え方に書いてあるため、「確保量」と記載すべき。そこを直していただきたい。また、11番と12番について、一時預かり事業で、「ファミリーサポートセンター未就学児分を含む」とあるが、これが内訳として書かれていないと、次が「ファミリーサポートセンターの就学児分を除く」という形となっているため、下は良いが、上でファミリーサポート分がいくつなのか書かれていないと分からない。</p> <p>さらに、13について、見直し後の確保量が2,920日分になっているが、すでに2,920日分確保しているという認識で良いか。あえて今の460から、2,920日確保するという、大きな数字に変える必要があるのかが少し疑問である。</p>
事務局	<p>まず、冒頭に2点ご指摘いただいた、記載の仕方とファミリーサポートセンターの内訳の数字については、修正を検討させていただきたい。</p> <p>また、13番にあった2,920日分については、大きい数字に変わっているように見えるところだが、お見込のとおり、今の能力を据え置くものである。見せ方については、量の見込が伸びてきているところもあるため、これに対し確実に対応できるような体制がすでに本市には備わっているという点を分かりやすく伝えられるよう検討していく。</p>
会長	見直すということだが、よろしいか。
委員	はい。
会長	見直したものについては、各委員に連絡いただきたい。

委員	<p>13 番のショートステイ事業について、見せ方として、8 つの施設にショートステイを委託して運用できるようになっているため、各施設が受けられる年間の最大日数の合計をあげていると思うが、実態として、契約している他の市町さんが、施設独自にショートステイを受けたりすると、宇都宮市に対して全ての枠を使えるわけではない。</p> <p>また、他の確保方策については、宇都宮市の事業費の裏付けがあり、これだけの人を受け入れられる数字になっているのだと思うが、2,920 日分の子どもたちのショートステイを受け入れる場合に、予算の裏付けはできていると言ってよいのか。他のところは、病児保育などにこれだけの子どもが入っても、事業予算が確保できていると理解するが、もしかすると他のところも予算の裏付けとは別なのかもしれないが、13 番に関して、2,920 日分受け入れられる予算の裏付けが取れているのか伺いたい。</p>
事務局	<p>13 番のショートステイについて、ご指摘のとおり、2,920 日分は各施設の最大受入能力である。宇都宮市以外で契約している施設もあり、必ずしも宇都宮市からこれだけの日数を受け入れてもらえるという、確実なものではない。</p> <p>予算についても、令和 5 年度、6 年度の予算確保は確実なものではない。これからの受入人数を踏まえ、それに応じた予算額を検討していく。</p>
会長	<p>今の説明でよろしいか。</p>
委員	<p>はい。</p>
会長	<p>実態に合わせ、誤解のないように記述するようにお願いしたい。</p>
委員	<p>15 番の病児保育について、下方修正との記述があるが、先日、新型コロナウイルス感染症もインフルエンザと同様の扱いにしていきたいという発表があり、資料によると、コロナによって自粛が見て取れるというところにも、数字が抑えられている要因だと思う。コロナがインフルエンザと同様の扱いとなった場合、下方修正すると人が回らないなどの状況になるなどの見込はどうなのか。</p>
事務局	<p>まず、病児保育の需要に関して、コロナについては、現在、国の方で第 2 類から第 5 類に引き下げるといった動きもあり、その動向を注視していきたい。また、インフルエンザについては、感染症という面で、インフルエンザに罹っているお子さんから感染が広がってしまうため、病児保育の利用は控えていただいている。今後については、コロナの部分も含め検討していく</p>

	<p>が、今回については、令和5年度、6年度の残期間でどれくらいの利用が見込まれるかを修正させていただき、それに対する供給量を見ている。今後、第3期計画を令和7年度からを見据えて策定していきたいと考えている。その中で、コロナの状況が、普通の風邪と同様の扱いになった際には、利用者への想定も変わってくるため、国の動きなどを注視しながら対応していきたいと考えている。</p>
会長	今の説明でよろしいか。
委員	はい。
会長	他に、質問・意見等はないか。
	(質問・意見等なし)
会長	本議題について、了承いただけるか。
委員	了承。
	3 その他
会長	質問・意見等はあるか。
	(質問・意見等なし)
	4 閉会
事務局	以上で、第2回宇都宮市子ども・子育て会議を閉会する。
	以上